

2011年度

科目名	肢体不自由児の指導			
担当教員	石川 慶和			
配当	教福3		コード	14057
開期	前期	講時	月曜日4限	単位数 2
授業テーマ	肢体不自由教育全般についての理解と児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援の在り方について学ぶ。			
目的と概要	肢体不自由教育の基礎的理解を深めると共に、肢体不自由のある児童生徒の教育的ニーズの的確な把握と個々のニーズに応じた指導や支援の在り方について習得することを目的とする。肢体不自由の概念・定義や肢体不自由教育の現状を学び、肢体不自由教育が抱える課題や展望について考える。また、肢体不自由のある児童生徒の種々の困難を理解し、その困難を改善・克服するために必要な能力や技能は何かについて考え、個に応じた指導・支援の内容や方法について学ぶ。			
成績評価法	授業参加態度(20%)、授業時の課題(10%)、期末試験(70%)で総合的に評価を行う。			
テキスト	肢体不自由教育の理念と実践(ジアース教育新社)			
参考書	必要に応じて適宜紹介する			
履修に当たっての注意・助言/準備学習	1) 期末試験は全講義にわたった内容になります。実習等やむを得ない事情で欠席する場合も、授業内容の理解を求めます。 2) 出席回数は評価の対象としません。ただし、1／3以上欠席した者は期末試験の受験を認めません。 3) テキストの予習範囲を事前に指定します。講義は予習を前提に進めます。			
講義計画				
1. 肢体不自由の概念と定義 2. 肢体不自由教育の現状 3. 肢体不自由教育の教育課程と自立活動の意義 4. 肢体不自由の理解と支援（1） 5. 肢体不自由の理解と支援（2） 6. 個別の指導計画の作成と評価 7. 教科にかかわる指導 8. 運動・動作にかかわる指導 9. 感覚運動にかかわる指導 10. コミュニケーションにかかわる指導 11. 日常生活動作にかかわる指導 12. 補装具・自助具の意義と活用 13. 健康管理と医療的ケア 14. 家庭・関係機関との連携 15. 総括				